

227号の
主な記事

- 第3回定例会概要、議員提出議案の概要..... 1ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況..... 2ページ
- 代表質問、一般質問..... 3～5ページ
- 決算特別委員会の概要..... 6～8ページ

第3回定例会日程

9月21日	議案上程、委員会付託、表決
25日	代表質問
26日	一般質問
28・29日	} 決算審査
10月2・3・5・6日	
10・12日	} 議案審査
13日	
16日	請願・陳情等の審査
24日	委員会報告及び表決

平成29年第3回定例会

平成28年度各会計歳入歳出決算を認定

補正予算を含む18議案と「受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書」を可決

平成29年第3回定例会は9月21日から10月24日までの34日間の会期で開きました。

この定例会には区長から、総額42億8000万円余を計上した一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む議案17件、同意1件、報告7件が提出されました。

平成28年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員からは「受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書」を提出し、賛成多数で可決しました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、1月下旬に出来上がります。会議録の詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、または区議会事務局をご覧ください。



一之江抹香亭 (撮影: 野寺治孝)

区議会ホームページのリニューアル

10月1日に江戸川区議会ホームページをリニューアルしました。

より使いやすいホームページとするため、トップページの変更、検索機能の充実を図るとともに、スマートフォン・タブレット端末での利用も可能になりました。下記QRコードよりご覧ください。

また、今回の「区議会だより」から代表質問・一般質問(3～5ページ)に各質問者の録画映像が視聴できるQRコードを掲載しました。あわせてご利用ください。



江戸川区議会ホームページ

議員から提出された議案

-意見書は各関係機関に送りました-

○受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

〔衆議院議長、参議院議長、厚生労働大臣 あて〕

受動喫煙を防止するために、たばこの煙による深刻な健康被害について啓発していく必要があること、また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、日本の受動喫煙防止対策の取り組みを国際社会に発信する必要があることから、受動喫煙防止対策の取り組みを進めるために健康増進法の早期改正を求める。

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、民進…民進党、共産…日本共産党 江戸…江戸川クラブ、生ネ…生活者ネットワーク

(議長を除く 計43人)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 民進, 共産, 江戸, 生ネ, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Rows include 区長提出議案 (Budget, Ordinances), 議員提出議案, and 報告 (Reports).

※不採択に賛成ではかり不採択。

皆さんから出された請願・陳情

Table with columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会, 番号, 内容, 委員会. Lists petitions and requests such as '98号 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情'.

区政への質問

9月25日に代表質問、26日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問

自分らしく皆生きる喜び を実感できる都市の実現



自由民主党
はやかわ 和江



- 新中川の橋梁架け替えと河川敷整備計画
- ①新中川開削によって架けられた橋梁は、整備されてから50年近く経過し、「新中川橋梁架け替え計画」のもと順次整備が行われてきた。現在、松本橋の整備が行われているが、新中川橋梁の架け替え計画の今後の見通しは。
- ②新中川の護岸と河川敷の未整備地区の今後の整備の見通しは。
- ①次は瑞穂大橋の架け替えを考えている。鹿本橋は鹿骨新橋に主要交通の流れが移っているため、今後の橋のあり方について地域と相談し方向性を決めていく。
- ②総武線より上流は29年度に左岸側、30年度に右岸側を整備することで区内の整備が完了する。32年度までに新中川全体の整備が完了する予定。
- 庁舎移転及び大型公共施設の再整備
- ①平成26年度に議会は、庁舎移転の候補地を船堀四丁目都有地が適当であると議決したが、現在の庁舎移転の進捗状況は。
- ②老朽化の著しい大型公共施設の建替えについて、今後の検討方法は。



庁舎移転及び大型公共施設の再整備

- ①都営住宅の住民の移転や施設の移転が完了し、平成30年度には更地になる予定である。都の財務局長等に区の意向は伝えているが、明確な答えは得られていない。今後もしっかりと粘り強く交渉し、早期決着を目指す。
- ②4月に公表した「公共施設が抱える課題と今後の検討の方向性」をもとに施設の利用状況等を踏まえて整理しているので整次次第、議会や区民の皆様等と具体的に検討していく。
- 平成32年の児童相談所の開設に向け、担当部署の設置や心理職・保育士等の人材の確保など準備が進んでいる。児童行政を円滑に実施していくためには人材育成が重要であるが、職員の育成状況と今後の見通しは。また、東京都や23区と協力した研修の実施を。
- 児童相談所開設にあたり、人材育成は重要な課題であることから、派遣研修を行っている。全職員を派遣することは難しいが今後も限られた時間の中であらゆる策を講じる。
- 認知症対策として、認知症患者の相談体制や家族や周囲の方々への支援、介護サービス等の整備の進め方は。
- 関係機関と連携し、相談体制の構築等を行ってきた。認知症になっても安心して生活で

- きる優しい地域づくりに取り組んでいく。
- 篠崎水門から瑞穂大橋の間の「健康の道」は道幅が狭く、サイクリングロードと一体となっているが、今後の拡幅・整備の可能性は。
- 江戸川二丁目の健康の道はスーパー堤防事業により、6mに拡幅される予定である。平成31年度の完成に向け事業を進めていく。
- 子どもの口腔環境を整えるため、家庭や歯科医師会等と連携し、口腔ケアの推進を。
- 幼児期から学齢期までの歯科保健に加え、子どもの成長支援として実施している取り組みの中でも歯の健康の大切さを啓発し、子どもたちの健やかな成長の実現を目指していく。

犠牲者ゼロ! 江東5区の大規模 水害対策の確実な推進を!



公明党
堀江 そういち



- 大規模水害対策について
- ①区民の水害についての意識啓発と自発的な取り組みの推進が重要であるが、区長の考えは。
- ②国や都、関係機関との連携など、具体的な行動計画に繋げていくための今後の見通しは。
- ①大規模水害への意識を高めるため、江東5区で協力し、さらなる意識啓発を進める。
- ②具体的な広域避難行動計画を作成し、区民への周知を行っていく。



大規模水害対策

- オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを通じて、伝統芸能や伝統産業などの本区の魅力を発信し、文化・芸術の基盤強化を。また、応援プログラムのサポートを。
- 本区の誇りである文化・芸術を国際イベントの中で大いにアピールし、区の文化・芸術のさらなる発展への努力をしていく。
- 小・中学校における教員の働き方改革
- ①文科省が公表した教員の勤務実態調査の結果を踏まえ、教員の働き方改革に対する考えは。
- ②本区の教職員の勤務実態の掌握と働き方改革に向けた今後の取り組みは。
- ①国や都の動向を注視しながら、教員の労働状況を改善する方策を検討する。
- ②都教育委員会による勤務実態調査の結果を踏まえて現状把握や本区独自の調査を検討する。
- 自殺防止対策について
- ①新自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱を踏まえた自殺対策計画の策定の進め方は。
- ②子どもや若者の自殺防止対策の進め方は。
- ①法律の改正等を踏まえ、新たな行動計画の作成を力強く進める。
- ②いじめアンケート等による実態把握や命の見守り講座等を実施している。
- JR小岩駅の北口地区、南口六丁目地区、七丁目地区の周辺まちづくりの進め方は。

- 3地区の理事長会議で議論を行っている。情報や将来像を共有し一体感を持って進める。

福祉施策のさらなる充実 と性教育について



民進党
小野塚 あやか



- 若年性認知症による経済的困難の救済や若年性認知症に特化した福祉サービスが必要であると考え、本区における若年性認知症対策の現状と今後の方針は。
- 若年性認知症は新オレンジプランの中で早期診断・早期対応が謳われている。認知症ホットライン等の相談窓口の設置や専用サービス等を行っており、引き続き本人・家族への支援に取り組む。
- ダブルケアへの包括的な支援について
- ①本区におけるダブルケアの現状は。
- ②関係部署が連携した包括的な支援が重要であるが、今後の支援方針は。
- ①ダブルケア世帯の実態に即した支援を行っており、現状把握の調査の必要性については今後研究していく。
- ②窓口一元化ではなく関係部署の連携や情報共有に努め、適切な支援、サービスに繋げる。



育児と介護のダブルケア への包括的な支援

- 人権教育に基づいた性教育について
- ①現代はインターネットの普及により、若者が性的リスクにさらされやすい状況にあることから、性教育を根本的に見直すことが重要である。本区の性教育の現状は。
- ②人権教育等に基づいた性教育が必要であると考え、性教育の今後の展望は。
- ①人権尊重の観点から性教育を行うことは大変重要である。学習指導要領に基づき、各学校の保健体育や特別活動の授業で、性に関して適切な指導をしている。また、道徳においても異性への正しい理解を深め、相手の人格を尊重する指導を行っている。
- ②今後も人権尊重の観点を大切にしながら、学習指導要領に基づき、着実に指導をしていく。個別に対応するべき案件については家庭等と連携し、丁寧な指導をしていく。

非核平和宣言を! 庁舎建替 検討当初から住民主人公で



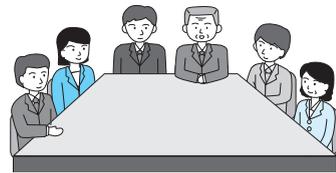
日本共産党
須田 哲二



- 核兵器廃絶「ヒバクシャ国際署名」について
- ①核兵器のない世界の実現のため始められたヒバクシャ国際署名の意義についての考えは。
- ②署名運動を区民に広げ、核戦争に繋がりにかぬ北朝鮮の挑発に反対する世論の推進を。
- ③核兵器廃絶を目的とした平和首長会議に加盟していることから、本区においても非核を明確に掲げた「非核平和都市宣言」の制定を。

- ③ ①極めて意義のある署名活動であると考えており、既に署名している。
- ②署名は強制するものでないため、署名を働きかけるといった考えはない。
- ③平成7年の平和都市宣言の中には、非核等が含まれており、改めて非核をつけて宣言するつもりはない。

- **公共施設への区民意見の反映について**
- ①本庁舎建替えにあたり、現庁舎周辺の住民をはじめとした区民の要望や意見を聴くべき。
- ②今井児童交通公園の今後や江戸川二丁目への交通公園整備について区民意見の反映を。
- ③清掃工場の建替えによる「くつろぎの家」の廃止を決定しているが、今後の整備方針について区民を交えて検討を。



公共施設への区民意見の反映

- ①庁舎や区民施設の建設にあたり区民意見の反映は当然のことである。実際に事業を行う際には区民や議会と十分に議論した上で、事業内容を決定していく。
- ②江戸川二丁目公園への交通公園機能の移転、今井児童交通公園の防災公園整備については、事業の進捗に合わせ意見や要望等を伺ってきた。今後も適宜説明を行い、区民や議会の声を踏まえながら早期整備を進めていく。
- ③「くつろぎの家」廃止後の施設新設は、区民や議会と十分に議論していく。清掃工場の建替え後のお湯の供給についても区民の意見を伺う。

南葛西の土壌汚染対策を求め



江戸川クラブ
ます 秀行



- インターネットの普及により子どもたちが新聞から遠ざかっていることから、区内の中学生を対象に新聞の無料配布事業の実施を。
- 無償配布を実施するつもりはない。
- **安全・安心まちづくりの推進のため、治安の向上に民間活力の導入を。**
- 至らない部分も多々あり、提言を含め検討し、成果が上がる方法を探求していく。
- **レンタサイクル事業のさらなる拡充のため、自転車台数や駐輪場所の増設を。**
- 現在実施している事業が、今後さらに良い形で実施できるよう検討していく。
- **用地買収の是非を議会等が審議できるよう財産価格審議会のあり方の見直しを。また、用地取得基金の中で管理されている土地・建物の現状についての情報開示を。**
- 財産価格審議会の権能は条例で定められているため、議会の意向を伺う機会を設け、適正な形で審議出来るよう努める。また、用地取得基金の中で複数年にわたり保有している土地の状況報告については検討していく。
- **今年行われた南葛西地区の異臭調査の結果を踏まえ、次の段階の調査の実施を。**
- 土壌汚染調査は法令に従い、関係事業者に対応を求めていく。また、状況を見ながら大気汚染調査の継続的な実施を検討していく。



南葛西地区の土壌汚染対策

- **ワンルームマンション建設に対する規制の平均住戸専用面積 70m²の根拠は。また、区内住環境の実態調査の実施を。**
- 国の住生活基本計画の誘導居住面積水準等を根拠に規定している。住まいの基本計画等の改定の中で実施したワークショップや土地統計調査の資料等から実態を把握している。
- **小中学校改築工事の入札制度について、区外からも参加しやすい制度に見直しを。**
- 当初の方針を変えるつもりはないが、時代の変化に合わせた見直しを行っており、今後も状況に合わせ、より良い改善をしていく。

一般質問

特養待機者の解消、家庭教育の支援、広域避難確立を!



自由民主党
栗原 ゆたか



- **インターネットを利用して近隣の住民同士で情報交換を行う「ローカル SNS」を活用し、さまざまな地域情報を発信することで有意義なコミュニケーションネットワークを形成することができる。地域活性化のために「ローカル SNS」活用の積極的な推進を。**
- 区内では既に4社でローカル SNS が運営されている。他区では自治体と協定を結んで運営されているが、開始されて間もないため、今後の動向を注視し研究を進める。
- **自治体間連携による特養待機者の解消**
- ①特別養護老人ホームの待機者解消のため、友好都市に保養地型の特養施設の建設を。
- ②在宅介護を希望する要介護者が、愛着のある地域で安心して過ごせる「地域包括ケアシステム」の構築・強化と「介護保険制度の持続可能性の担保」を図っていくことが求められている。地域包括ケアシステムの拠点であるなごみの家と特養のバランスのとれた整備が必要であるが、今後の整備方針は。
- ①友好都市への特養整備の需要がなく、また、友好都市からの要望もないため、現状では特養整備は考えていない。
- ②30年度に、春江町に定員140床の特養を開設予定である。また、北小岩一丁目の大規模画地にも障害者グループホームと併設した特養整備を予定している。なごみの家については来年度に新たに4ヵ所設置予定である。未永く住み慣れた本区に住んでいただくために、特養・なごみの家を順次整備していく。
- **文科省が推進する「家庭教育支援チーム」は、子育て経験のある地域の方を中心に民生児童委員等のさまざまな人材で構成される組織である。訪問型の家庭教育支援を導入することで、支援が届きにくい事情のある保護者への支援や問題を抱える家庭への早期対応・問題の未然防止に繋げることができる。本区においても一層の家庭教育支援体制の強化が必要**

であるが、今後の展望は。

- 新生児訪問や子育てひろば等、専門性と地域力を活かしたさまざまな支援策を展開している。今後も関係者と連携し、支援を必要としている子どもや家庭に適切に対応していく。
- **東京オリンピック・パラリンピックで本区はカヌースラローム競技が行われる予定である。今後機運が高まっていく中で、大会を契機とした観光客の増加や地域活性化を目指し、スポーツ・ツーリズムの積極的な推進を。**
- カヌースラローム競技会場をスポーツ・レジャー施設として活用し、カヌーの街として活性化事業を展開していく。また、文化・産業・水と緑あふれるまちづくりなど、本区ならではの魅力を発信していく。
- **江東5区大規模広域避難を実現する社会の構築に向け、5区版ハザードマップと行動計画の早期作成を。また、広域避難を実現するために区民への啓発等の進め方は。**
- 来年の夏を目処に江東5区が共同で、大規模水害をテーマとしたわかりやすいハザードマップや自助の取り組みを示した行動規範の作成を予定している。

区内12駅にホームドア設置とバリアフリー化を



公明党
くぼた 龍一



- **すべての人が安全・安心に鉄道を利用できるように、区内12駅へのホームドアの完全整備とバリアフリー化の積極的な推進を。**
- 平成30年度に予定されている葛西臨海公園駅の点状ブロックの整備が完了すれば、区内12駅のバリアフリー対策が完成する。ホームドアの設置は国や都の補助制度を活用しながら事業者積極的に働きかけていく。
- **新生児の聴覚検査は、難聴を早期に発見し適切な支援を行うことができるため重要である。聴覚検査の必要性について、ハローベビー教室等での周知と検査費用の公費助成が適用されるよう国や都への働きかけを。**
- 先天性の聴覚障害は早期の治療により、言語発達への影響を最小限に抑えることができることから新生児期の検査は重要である。妊婦全数面接や訪問等の機会を捉え、検査の必要性をさらに周知していく。
- **区では東京オリンピック・パラリンピックに向け、カヌー教室の開催やパラスポーツ選手による講演会の実施など、さまざまなスポーツ振興が行われているが、本区のスポーツ実施率のさらなる向上への取り組みは。**
- スポーツチャレンジデーに継続的に挑戦し、機運醸成と運動の習慣化を図っていく。また、本区にゆかりのあるアスリートの活躍の紹介等によるスポーツへの関心の向上やスポーツ施設等の環境整備を計画的に進めていく。
- **本区の地域力のさらなる向上のためには町会・自治会への加入が重要であるが、近年の加入率は横ばい状態である。これまでチラシの配布やPR活動支援などを行ってきたが、さらなる加入促進のための今後の取り組みは。**
- 町会・自治会の加入促進への取り組み支援として、相談窓口の設置や行事への人的支援、関係機関との連携等を行っている。今後も地域に寄り添いながら適切な支援を行う。

次代を担う 子どもたちのために!



民進党
金井 しげる



子どもたちが花を育てることで、生き物の成長や命の尊さを学ぶことができる。小中学校において、学校、子どもたちを中心に手作りで花のあふれる学校づくりを。

花を育てることで命の尊さや美的感覚、感性を育むことは大切である。各学校の授業の中でチューリップ等の植物の栽培を行っている。児童生徒の委員会での活動や学校応援団等と連携し、花のあふれる学校づくりを行いながら育てていく。

「地域の子どもたちは地域で守る」という防犯意識を持ち、保護者や学校関係者が一丸となって子どもたちを守るため、防災行政無線を活用した子どもたちの見守りを。

防災行政無線は緊急防災情報や区全体の情報伝達手段として活用している。見守りへの活用には課題があるためよく研究していく。

子どもたちの読書意欲の向上と読書の習慣化のため、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を銀行貯金通帳のように記録する「読書通帳」システム導入を。

システムの導入については経費等の問題があるため、ただちに実施することは難しい。システムの開発状況・他の自治体の動向などを注視し、研究していく。

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、タバコのポイ捨てに対する実効性を高めるため、「ポイ捨て条例」に罰則を設けることについての考えは。

たばこのポイ捨て対策は地域や関係機関とともに実施してきた「環境を良くする運動」を中心に取り組んでいたが、なくなっていないと認識している。本条例は議員発議、全会一致で成立しており、改正等の審議を見据える。

地盤強度不足スーパー堤防 中止、人権施策とLGBT



日本共産党
牧野 けんじ



性的マイノリティ、LGBTと人権について
①区のホームページでLGBTに関する有効な相談窓口のわかりやすい案内と周知を。

②当事者団体等と連携し、当事者が安心して交流できるコミュニティスペースの実施を。

③職員・教職員向けのガイドラインの作成を。

④パートナーシップ制度の実施を。

①現在、都の人権プラザや東京都法務局等の相談窓口を案内している。今後は公的機関による相談窓口の案内を拡充していく。

②当事者団体の自主的な活動を支援し、区民の理解を深める取り組みをしていく。

③LGBTの方々の人権についての研修を行い、資料の周知をしている。ガイドラインについては他自治体の例を参考に研究していく。

④法整備等を注視し、引き続き研究していく。

スーパー堤防とまちづくり事業について

①北小岩一丁目地区の地盤強度不足の原因は。

②篠崎公園地区の地盤調査結果の認識は。また、区民への地盤調査結果の公表等の実施を。

③篠崎公園地区の土地区画整理事業の飛び換地において、移転を拒否した場合、直接施行で強制的に移転させられてしまうのか。

④土地区画整理事業による妙勝寺の墓地移転についての法的根拠や今後のスケジュールは。

①宅地利用を前提とした地盤強度の調査方法等についての国の認識不足が原因である。

②国と連携して調査結果を分析し、さらなる地盤調査の必要性を含めて検討していく。また、地域住民には段階に応じて周知していく。

③個別に意向確認を行いながら移転計画案を詰めており、直接施行は行わない。今後も権利者の理解を得ながら、丁寧に進めていく。

④土地区画整理法及び墓地、埋葬に関する法律を遵守しながら実施する。関係者に対してスケジュール等について丁寧に説明、対応していく。

エコタウンを目指す取り組み とLGBTの対応について



生活者ネットワーク
伊藤 ひとみ



日本一のエコタウンを目指した取り組み

①施設の再生可能エネルギーによるCO₂や費用の削減効果の公表と設備の積極的拡充を。

②エコタウンえどがわ推進計画にコミュニティファンドの設立について明記を。

③民間事業者と連携し、新電力会社の設立を。

④「街づくり基本プラン」や「住まいの基本計画」にエネルギービジョンを活かすこと。

①単独で評価はせず環境行動計画に内包。施設の新設や改修時に設備導入を進めている。

②実施段階ではないため、今後研究していく。

③電力の安定供給等の課題があり、現時点では区が新電力会社立ち上げを検討する状況にない。

④「江戸川区街づくり基本プラン」等にはエネルギービジョンを取り入れて作成を進めていく。

LGBTについて

①職員への具体的な研修や啓発の取り組みは。

②区として、パートナーシップ証明の発行を。

③各校の個別対応に任せず、区としての取り組みを。また、教員へは具体的な啓発活動を。

①今後も人権課題研修や啓発に取り組む。

②国の動向を注視し、今後も研究していく。

③今後も人権教育プログラムを活用し、教員一人一人への具体的な啓発に取り組んでいく。

江戸川区の良さ、心を 最大限に生かす体制を問う



無所属
須賀 清次



江戸川区方式の「ふれあいとぬくもり」のある児童相談所の設置と体制づくりを。

子ども第一という理念に基づき、地域の皆様とともに築き上げる江戸川区だからこそできる理想の児童相談所行政を構築していく。

子どもの貧困について昭和20～30年代と現代の違いは。また、学校という学舎と学習支援事業の違いは。

当時から貧困は存在していたが、核家族化や都市化により、人と人のつながりが希薄になったことで現代の貧困は深刻化している。学習意欲がありながら経済的な理由で塾等に通えない児童・生徒を対象として、学習機会を

提供するため学習支援事業を実施している。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、「やさしさ日本・おもてなし日本」の和の心を新川から発信を。

ご提案いただいた新川の将来のあるべき姿を目指していく。

気仙沼市への職員派遣はもうしばらく必要と考えるが、これまでの経過を含め、今後の支援にどのように取り組んでいくのか。

気仙沼への区民からの義援金は7000万円であった。区民の心意気に負けないように最後まで支援していく。

手話言語条例の早期制定を! ヘルプマーク・カードの普及を!



公明党
佐々木 ゆういち



現在、東京都内で手話言語条例を制定した自治体はなく、都内の自治体の先駆けとして手話言語条例を制定するべきであると考えが、条例の早期制定についての考えは。

条例の早期制定に向け、準備していく。

第5期江戸川区障害福祉計画と第1期江戸川区障害児福祉計画の策定について

①国の第5期障害福祉計画の目標を踏まえ、精神障害者に対応した地域包括ケアシステムを含めた本区の障害福祉計画策定についての考えは。

②障害児福祉計画の策定にあたり、障害児支援の提供体制の整備についての考えは。

①保険、医療、福祉関係者による協議体の設置を検討していく。精神障害者への対応も含めた地域包括ケアシステムを構築していく。

②重症心身障害児のための事業所等、ハード面の整備と保育所等訪問支援の充実など、ソフト面の整備を検討していく。

7月に「ヘルプマーク」が全国共通マークとなったことを踏まえ、本区におけるヘルプマークとヘルプカードの今後の展開は。

都のヘルプマークと区のヘルプカードの利点を活かしたヘルプカードを作成中である。今年度中に作成し、普及啓発に努める。

ホームページを中心にLINE等の電子媒体を活用した効果的な情報発信を。

情報発信の方法としてホームページの仕組みやLINE等の活用を含めて、今後の電子媒体の活用方法について研究していく。

区名に「江戸」の名を冠する本区として、江戸情緒等をコンセプトとした魅力と誇りを高める取り組みを。

「えどコレ」で名産品の紹介や都と共同企画開発する「EDO&TOKYO」プロジェクト等を進めてきた。さまざまな本区の魅力を国内外に積極的にPRしていく。



決算特別委員会

決算特別委員会は、9月28日から10月12日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月24日の本会議で採決の結果、平成28年度各会計歳入歳出決算は、賛成38・反対5で認定されました。

決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| ◎ 高木ひでたか | 栗原ゆたか | 中山たかひと | 小俣のり子 |
| ○ 堀江そういち | 野崎まこと | 大西 洋平 | セバタ 勇 |
| 岩田まさかず | 牧野けんじ | 大橋みえ子 | 須賀 清次 |
| 中津川まさあき | ます 秀行 | 須田 哲二 | うざわ悦子 |
| 小野塚あやか | 笹本ひさし | えぞえ亮一 | 島村 和成 |
| 神尾てるあき | 金井しげる | 中里 省三 | 渡部 正明 |
| 本西みつえ | 竹平ちはる | 中道たかし | |
| 伊藤ひとみ | 所たかひろ | 田中 寿一 | |

委員定数20人(委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

平成28年度決算に対する各会派の意見

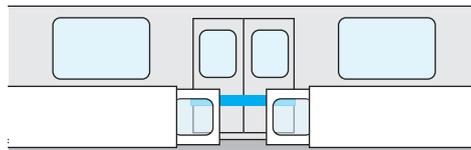
自由民主党(賛成)

子どもの成長支援や児童相談所開設準備など直面する課題への対策を力強く進めるために、財源の効果的な活用と経常的経費の見直しを常に図り、健全財政を維持しつつ、将来に向けた持続可能な行政運営が行われたと確信し、平成28年度歳入歳出決算に対し、賛意を表明する。

[主な要望]

- 特別区税の徴収努力や業務委託による高度化・効率化を高く評価し、引き続き、公平公正の観点からさらなる努力を。
- フリーマーケットやユーザーなどによる所得の申告漏れが無いよう啓蒙を。
- 国保の保険者努力支援制度の実績得点が23区でトップクラスになるよう取り組みを。
- 医師会・薬剤師会などの関係機関と連携し、ジェネリック医薬品使用率向上への取り組みを。
- オリンピック・パラリンピックについて、ホストタウンのオランダとの交流はスポーツに加え、文化・教育等幅広く展開を。また、区民の参加意識が高まるよう一層の展開を。
- 東北大学金属化学研究所と積極的な連携を。
- 子どもたちに地域の良さを改めて発見してもらう「わがまち自慢」コーナーの継続を。
- 区ホームページの検索システムの見直しと膨大な資料の整理・分類の検討を。
- 気仙沼市への被災地支援の継続と今後の支援方法の検討を。
- 船堀駅周辺は期日前投票所の空白域になっていることから、投票率の向上のため、タワーホール船堀に期日前投票所の開設を。
- 区内企業の防災意識を高め、被害を最小限に抑えるよう、企業の防災備蓄の推進を。
- 児童相談所の開設にあたり不測の事態に対応するため、精神科医などの専門職の配置を。
- 労働契約法や地方自治法の改正を踏まえ、

- 非常勤職員の処遇改善について早期対応を。
- ひらい園蔵亭は落語文化だけにとらわれず、老若男女が集う賑わいのある施設として活用を。
- 区内の文化・芸術・音楽などの活動を総合的に把握し、文化活動向上への取り組みを。
- ラグビーワールドカップの日本開催を踏まえ、ウィルチェアラグビーを取り入れるなど、障害者スポーツの機運醸成に向けた取り組みを。
- 関係部署と連携し、ペットの飼い主のマナー違反の一層の改善に繋がる方策の検討を。
- 食品衛生協会等と連携し、えどがわ食べきり推進運動の充実に向けた取り組みを。
- 世代や障害の有無に関わらず、地域で生活を送れるよう「なごみの家」の設置推進を。
- 都と連携し、重症心身障害者の受入れ施設の設定を希望する事業者に対する支援を。
- 児童相談所の開設に伴い、里親の充実や児童養護施設・乳児院などの体制強化を。
- 都市計画マスタープランの策定にあたり、健康や福祉などのソフト面を取り入れるとともに、進捗管理体制の構築と現都市計画において網掛けされていない地域への対応を。
- 京成本線立体化の高砂の車庫移転の用地確保、事業負担割合などの課題について、地域住民への説明会の開催を。また、早期事業計画決定に向け、さらなる努力を。
- 区内各駅へのホームドアの早期設置を。



区内各駅へのホームドア設置

- 東小松川一丁目バス停の利用者による違法駐輪が後を絶たないため、駐輪場の整備を。
- 学力向上について、適切な競い合いと助け合いによる切磋琢磨する環境づくりを進め、結果の改善につながる取り組みを。
- 学校教育における情報化の推進に伴い、教員の技術スキルを高めるため、充実したICT教育、研修の実施を。

公明党(賛成)

平成28年度決算審査にあたり、「なごみの家」の開設や「子どもの成長支援」など福祉分野の取り組み、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成及び推進プログラムの取り組みなどを高く評価する。その結果、区議会公明党として適正との判断に至り、平成28年度江戸川区各歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 東北大学と連携し、英会話交流や子ども未来館での教室、ものづくり産業への協力体制等、区民との連携の強化を。
- 区の情報発信について、広報えどがわの設置場所拡大とともに、電子媒体のさらなる活用とスマートフォンアプリの導入を。
- 「スポーツと文化と教育の融合」を目指す五輪の理念を実現するため、全庁をあげて推進プログラムの取り組みを。
- 江東5区広域避難の犠牲者ゼロを目指す取り組みを。また、避難所開設運営訓練を全域で開催し、地域の防災力向上を。
- 小岩駅周辺地区まちづくりの丁寧な推進を。京成本線立体化と京成小岩駅周辺まちづくりの早期着工・実現に向け、さらなる取り組みを。
- 南小岩七丁目地区土地区画整理事業は高齢者の生活再建や駐輪場の整備などに対応し、着実な推進を。
- 特殊詐欺への注意喚起を図るとともに、警察署と連携し、自動通話録音機の利用促進など、特殊詐欺未然防止への取り組みを。
- 利用しやすい魅力ある図書館づくりの推進とコミュニティ会館に返却ボックスの設置を。
- 共育プラザの学習支援やイングリッシュキャンプなどの充実を図るとともに、利用者のさらなる拡大と葛西南部地域への設置を。
- カヌー協会と連携した普及啓発と新左近川親水公園のカヌー場の計画的な整備を。



カヌー場の計画的な整備

○小岩南部地域にコミュニティ会館の設置を。
 ○「なごみの家」の支え手となるボランティアの拡充と、一人暮らしや認知症の熟年者の居場所の拡充や見守りの強化を。
 ○社会福祉士等卒後連携と要介護改善支援事業の継続、実務者研修の費用助成と住宅補助を。また、生活支援員に対して介護現場のニーズを踏まえた養成研修の実施を。
 ○認証保育所入園補助金の所得制限の緩和、私立幼稚園の保護者負担軽減の継続を。
 ○児童相談所の移管に向け、専門職の人材確保や関係機関の連携強化、里親制度の周知を。
 ○妊婦歯科健診の個別健診と妊娠から出産、子育てへの切れ目のない支援や新生児聴覚検査の受診促進に向けたさらなる取り組みを。
 ○葛西駅地下駐輪場へのエレベーターの設置と瑞江駅周辺駐輪場の利便性の向上を。
 ○学習定着・学力向上について、各学校で行っている補習授業や授業改善のさらなる推進を。
 ○読書科についての指導法の充実と学校司書の全校配置、蔵書のデータベース化の導入を。
 ○スクールソーシャルワーカーを増員し、学校と関係機関などの連携強化を。
 ○部活動外部指導員をはじめ、学校を支援する専門スタッフの派遣の充実を。
 ○不登校の未然防止のため、「いじめアンケート」や「QU アンケート」の活用を。
 ○自殺防止対策として、全小中学校で「SOSの出し方教室」の開催と教員への研修など、学校や関係機関と連携し迅速に対応を。

民進党(賛成)

児童相談所の設置に特別区でいち早く取り組みを始めたことや子どもの貧困対策の積極的な推進、新公会計制度の導入によるコスト意識の高まりなどを評価し、平成28年度歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

○災害時のペット同行避難について避難場所等の検討・研究及び避難訓練バックアップを。
 ○投票率向上に向け、タワーホール船堀等の駅前公共施設に期日前投票所の設置を。また、防災行政無線での投票締め切り1時間前の呼びかけの実施など、さらなる工夫を。



駅前公共施設への期日前投票所の設置

○戸建住宅・木造アパート・分譲マンション等のさらなる耐震化の推進を。
 ○清掃工場の建て替えがオリンピック・パラリンピック開催に支障が無いよう工夫を。また、技術の継承のために新規採用の実施を。
 ○新川さくら館での着物レンタルやスタッフのユニホームを和服にするなど、江戸情緒溢れる観光名所となるようさらなる取り組みを。
 ○障害者事業所の不正請求事例に対し、明確な基準のもとで監査・助言・指導の実施を。
 ○がん検診受診率向上のためのさらなる研究を。また、がんカフェ開催、ウィッグ購入助成等の患者の支援体制の強化を。

○ひとり親相談室すずらんにおいて、ひとりひとりに寄り添ったきめ細やかな支援の実施と情報共有の場としてさらなる充実を。
 ○地域猫活動の地域差をなくすだけでなく、里親支援の継続を。
 ○京葉道路の拡幅工事の早期実施と京葉交差点への左折レーンの新設を。
 ○ICT教育のさらなる充実と研究を。

日本共産党(反対)

審査にあたり、「区民に最も身近な区政として、区民の暮らしと福祉を守る立場に立っているか」、「区民の貴重な税金の使い方ははじめ、区政運営に民主主義が貫かれているか」、「国や都の政治に対し、区民を守る立場を貫いているか」の観点で慎重に審議した結果、平成28年度決算の認定に明確に反対する。

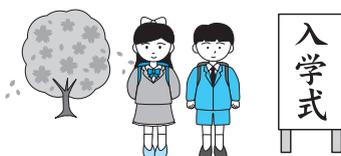
[主な反対理由]

○北小岩一丁目地区のスーパー堤防事業で発生した地耐力不足の原因について国の説明をそのまま受け入れていることや篠崎公園地区の事業においても地盤改良対策の検討もせず区画整理事業を推進する姿勢。区画整理事業の照応の原則に反する「飛び換地」や途方もない墓地移転など、住民負担を強いるスーパー堤防とまちづくり事業を中止しない姿勢。

○社会福祉法人えどがわの保育士確保が限界であるにもかかわらず、保育園の民営化を進めること。発達障害の早期発見・早期療養につながる5歳児健診や認証保育所の保育料負担軽減助成の拡大を行わない姿勢。

○住民税の特別徴収税額通知書にマイナンバーを記載し、プライバシーを保護しないこと。庁舎建設・くつろぎの家廃止・今井児童交通公園移転などについて、当初から住民の意見を聞く姿勢を示さなかったこと。

○すくすく学童登録において以前のような補食の提供を行わないことや当事者が納得しないまま一色小学校の統廃合を進めたこと、就学援助入学準備金の前倒し支給実施の方向性を示さないこと。学校図書館司書の全校配置、スクールソーシャルワーカーの増員、区費採用の講師配置を行わない姿勢。



就学援助入学準備金の前倒し支給

江戸川クラブ(賛成)

行財政改革への不断の努力、明日を担う未来の人づくりへの投資を軸とした区政運営を期待し、平成28年度決算に賛成する。

[主な要望]

○江戸川区防災会議のメンバーに女性や障害者の選任と消防団OBの活用を。
 ○青少年の翼について、各世帯収入に応じた負担や自己負担の無償化等について検討を。
 ○大型体育施設に求められる考えを広く聞き、興業の実施など多角的に検討を。

○東京オリンピック・パラリンピック開催時に江戸川花火大会の同時開催を。
 ○南葛西地区の土壌汚染・異臭問題について引き続き対応を。
 ○受動喫煙対策として、喫煙に対するさらなるマナーの向上と、より踏み込んだ対応を。



喫煙マナーの向上

○児童相談所の開設にあたり専門的職員の配備など、課題解決に向けさらなる取り組みを。
 ○介護事業従事者の処遇改善を。
 ○医療ケア児の受け入れ施設の早期整備を。
 ○認可外保育所利用者への負担軽減の実施を。
 ○妙勝寺の墓地移転は、地域の想いをくみ取り、スピード感と緊張感を持って全力で対応を。
 ○部活動外部指導員の積極招聘により、教職員が子どもと向き合える時間の確保を。
 ○補助264号線の通学路の安全確保を。
 ○子ども110番の引き続きの活用を。

生活者ネットワーク(賛成)

区民に寄り添った新たな予算執行に鑑み、平成28年度歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

○親子の育ちを見守る子育てひろばの所管をまとめ、支援員の体制や広報について工夫を。
 ○男女平等、LGBTなど多様性を認める社会に向けて学校での男女混合名簿使用の検討を。
 ○スーパー堤防の上を居住地とすることの妥当性について、改めて課題の整理を。



親子の育ちを見守る体制

無所属(賛成)

平成28年度決算を認定する。

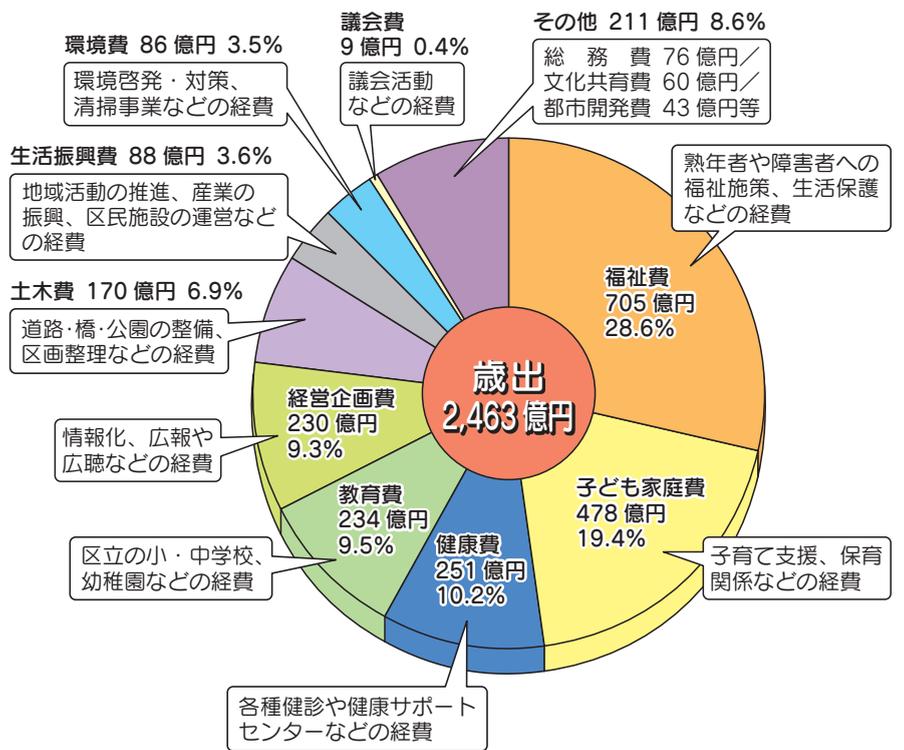
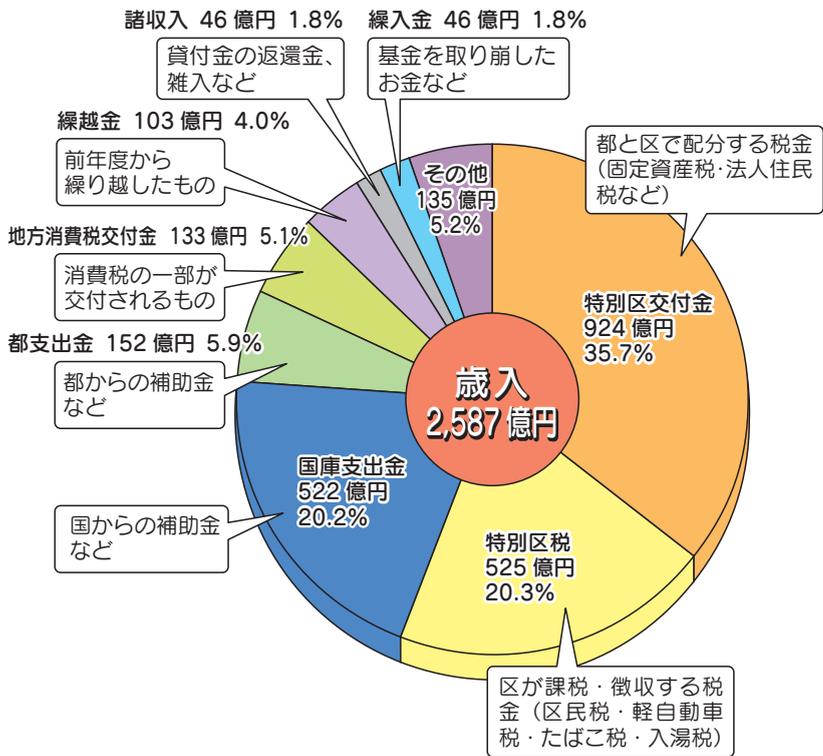
[主な要望]

○小学生衣類やおむつバンク等の研究を。
 ○梅毒の流行抑止のための情報提供と、教育や予防知識の普及啓発を大学生まで拡大を。
 ○他の事業を圧迫しないよう、時代に合わせたバランスの良い福祉施策の実施を。
 ○教員・親・地域が一体となり、家庭環境・学校環境・地域環境の充実を。
 ○水害による区内の水没の可能性を考慮し、移動電源車やポンプ車などは高台へ配置を。



平成28年度各会計歳入歳出決算のあらまし

一般会計



歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

特別会計

国民健康保険事業特別会計		介護保険事業特別会計		後期高齢者医療特別会計	
歳入	835億円	歳入	392億円	歳入	118億円
歳出	809億円	歳出	381億円	歳出	117億円

議場コンサートの開催について

平成29年第4回定例会の初日に区議会議場においてコンサートを開催します。この機会に定例会を傍聴いただき、区議会をより身近に感じてください。

日時
平成29年11月28日(火) 12時10分から12時40分

演奏場所
江戸川区議会議場

演奏曲目(予定)
「浄土ヶ浜の日の出」「舟遊び」「怒涛」
「竹田の子守唄(元唄)」「竹田の子守唄(赤い鳥)」
「中国地方の子守唄」

その他
議場コンサートはどなたでも鑑賞することができます。当日の11時30分から区議会事務局で受付をいたします。席数に限りがございますので、満席によりご入場いただけない場合はご容赦ください。

平成29年第4回定例会開催予定

11月28日(火)	本会議(議案上程、委員会付託)
30日(木)	本会議(一般質問)
12月1日(金)	本会議(一般質問)
4日(月)	常任委員会(議案審査)
5日(火)	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
12日(火)	本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。
※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎ 田中 寿一	○ 竹内 すずむ
筈本 ひさし	えぞえ 亮一
小俣 のり子	